

# 「岡谷市 Free Wi-Fi 利用規約」

## サービス概要

誰でも無料でインターネットに接続できます。

## 岡谷市 Free Wi-Fi 利用規約

岡谷市（以下、「本市」という。）は、岡谷市 Free Wi-Fi（以下、「本サービス」という。）の利用規約（以下、「本規約」という。）を定め、本規約に基づき本サービスを提供します。

本サービスを利用するためには、本規約に同意していただく必要があります。

### 第 1 条（利用者資格）

本市は、本規約に同意した方（以下、「利用者」と言います）に対して、本サービスを利用する資格を付与します。

### 第 2 条（利用料）

利用料は無料とします。ただし、本サービスを利用するために必要な通信機器等の設備及び 4G/LTE 等の通信費用並びにインターネット上の有料サービスは利用者が負担するものとします。

### 第 3 条（本サービスの内容）

本サービスにおいて以下の機能を利用することができます。

- ・ インターネット接続機能

#### 【セキュリティ上の留意事項】

本サービスは青少年保護の観点から青少年が利用することが好ましくないと本市が判断するサイト等へのアクセスを制限することがあります。

クレジットカード番号、ID やパスワード等の個人情報を必要とするサービスは利用しないよう注意してください。

本サービスの提供は、本条に同意していただくことが条件となります。したがって、本規約に一度同意した後で本条に同意できなくなった場合には、本サービスのご利用を継続することはできなくなります。

### 第 4 条（著作権等）

本サービスおよび本サービス上で表示される各種情報等に関する知的財産権（著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、ノウハウ等を含みますがこれらに限定されません。以下同じ）は、本市またはそれぞれの権利の権利者に帰属します

### 第 5 条（禁止事項）

利用者は、本サービスを利用するに際して、以下に掲げる行為をしてはならないものとします。

- ・ 本サービスに使用されている画像、データ、情報等の全てについて、その有償無償や形態の如何を問わず、事前に本市から書面による承諾を得ることなく、複製、転載、再配布等する行為
- ・ 本市または第三者の著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、ノウハウ等その他の一切の知的財産権を侵害する行為
- ・ 他の利用者に不快感を与える行為
- ・ 他人の信用もしくは名誉を侵害し、または他人のプライバシー権、肖像権その他一切の権利を侵害する行為
- ・ 特典等を取得するために行う不適切な行為
- ・ 本サービスの提供または他の利用者による本サービスの使用を妨害し、もしくはそれらに支障をきたす行為
- ・ 法令または公序良俗に反する行為
- ・ その他、本市が合理的な理由に基づき不適切と判断する行為

## 第 6 条（免責事項）

本市は、本サービスに不具合、エラー、障害等の瑕疵がないこと、および本サービスが中断なく稼動することをなんら保証しません。また、特定の目的に対する適応性、知的財産権その他の権利の侵害等に対してもなんら保証しません。

本市は、本サービスにいかなる不備があってもそれを回復、訂正等する義務を負いません。

本市は、利用者が本サービスを使用すること、または、使用できなかったことによって損害、トラブル等が生じた場合であっても、いかなる責任も負いません。

本市は、以下に掲げる場合（利用者の情報の消失、毀損を含みますがこれらに限定されません）等において、利用者が生じる損害、トラブルに関して、その原因いかなを問わず、いかなる責任も負いません。

- ・ 利用者の使用環境により、本サービスが使用できない場合
- ・ 本市が本サービスを変更し、または本サービスの使用を中止した場合
- ・ 本サービスの使用により、利用者の端末、OS、ブラウザ、各種ソフトウェア、その他付属機器に不具合が生じ、または利用者のデータが消失、毀損等した場合
- ・ 本サービスにおいて、利用者同士または利用者と第三者の間で法令または公序良俗に反する行為、名誉毀損、侮辱、プライバシー侵害、脅迫、誹謗中傷、いやがらせ等が生じた場合

本市は本サービス上に掲載される情報等について、明示または黙示を問わず、その正確性、完全性、最新性、および品質等についてなんら保証しません。

また、本市は、本サービスに表示される情報等およびその変更、更新等に関連して、利用者が生じた一切の損害、トラブルに関していかなる責任も負いません。

本市は、本サービスの仕様に関するご質問には一切お答えできません。

## 第 7 条（本サービスの中止）

本市が必要と認める場合、本市はなんらの通知を行うことなく、本サービスの機能の全部または一部の使用を中止または終了することがあります。

なお、当該中止または終了により利用者に損害が生じた場合であっても、本市はいかなる責任も負いません。

利用者が本規約に定める事項の一つにでも違反した場合、本市は、なんらの通知を行うことなく当該利用者との間において本規約を解約し、当該利用者による本サービスの使用を中止させることができます。

## 第 8 条（本規約の変更）

本規約の内容は、本市が必要と判断した場合には、利用者の事前または事後の承諾を得ることなく、予告なく変更される場合があります。変更後に本サービスを使用された場合、利用者は当該変更について同意したものとみなします。

本規約を変更した場合、本市は本市が適切と判断する方法で、利用者へ通知または公表します。

## 第 9 条（損害賠償）

利用者が本規約に違反した結果、本市が損害を被った場合、その損害を利用者は負担するものとします。

## 第 10 条（法令等の遵守）

利用者は、本サービスの使用にあたって、本規約に加え、関連する法律、政令、省令、条例、規則および命令等を遵守するものとします。

## 第 11 条（準拠法および裁判管轄）

本規約に関する準拠法は日本法とします。

附則 本規約は 2018 年 6 月 1 日より実施するものとします。